

# 交通事故発生状況（令和7年8月末現在）

## 1 交通事故発生状況

(1) 全国及び管内各県の死者数

区分	令和7年	令和6年	増減数	増減率
全国	1,549	1,655	-106	-6.4%
管区計	191	200	-9	-4.5%
富山	17	15	+2	+13.3%
石川	16	14	+2	+14.3%
福井	15	15	0	0%
岐阜	37	37	0	0%
愛知	69	91	-22	-24.2%
三重	37	28	+9	+32.1%

(2) 県下の交通事故発生状況

区分	人身件数	死者数	負傷者数	
			軽傷者数	重傷者数
令和7年	1,872	37	2,310	272
令和6年	1,841	37	2,252	219
増減数	+31	0	+58	+53
増減率	+1.7%	0%	+2.6%	+24.2%

(3) 月別死者数

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
令和7年	4	1	7	3	3	6	5	8	—	—	—	—
令和6年	6	6	3	1	4	8	3	6	6	5	10	12
増減数	-2	-5	+4	+2	-1	-2	+2	+2	—	—	—	—

(4) ブロック別死者数

区分	岐阜	西濃	中濃	東濃	飛驒	高速隊
令和7年	15	7	5	7	2	1
令和6年	8	7	6	7	5	4
増減数	+7	0	-1	0	-3	-3

(5) 年齢層別死者数

区分	子ども	高校生	若年者	25～59歳	60～64歳	高齢者
令和7年	0	1	2	5	0	29
令和6年	1	0	0	12	4	20
増減数	-1	+1	+2	-7	-4	+9

## 2 死亡事故(37件、37人)の特徴

今年の死亡事故は37件37人発生し、前年同期より件数は3件増加し、死者数は同数となっている。

岐阜県の全国順位(ワースト)は、死者数13位、増減数18位、増減率18位。  
また、人口10万人当たりの死者数は1.93人、ワースト11位。(全国平均:1.25人)

※ 人口10万人当たりの死者数は、R6.10.1現在の推計人口により算出

(1) 高齢者の死者が約8割

高齢者の死者が29人で、前年同期より9人増加し、全死者(37人)の78.4%を占め、このうち歩行者が10人と全高齢者の34.5%を占める。  
また、75歳以上の高齢者が19人で、全高齢者の65.5%を占める。

(2) 歩行者・自転車の死者があわせて約5割

歩行者の死者(11人)と自転車の死者(7人)をあわせて18人で、前年同期より6人増加(歩行者+3人・自転車+3人)し、全死者の48.6%を占め、このうち高齢者の死者が16人(歩行者10人・自転車6人)と大半を占める。

(3) 高齢運転者による事故が約4割

高齢運転者による事故が12件で、前年同期より5件増加し、全運転者事故(33件)の36.4%を占め、このうち昼間の事故が10件、単独事故が7件である。  
また、75歳以上の運転者による事故が5件で、全高齢運転者事故の41.7%を占める。

(4) 飲酒関係事故が増加

飲酒運転での事故が4件で、前年同期より3件増加し、全事故(37件)の10.8%を占める。

《 その他 》

○ 若年運転者事故が3件で、全運転者事故(33件)の9.1% [前年同期:2件・6.3%]

○ シートベルト非着用者は4人で、自動車乗車中死者(11人)の36.4% [前年同期:8人・47.1%]

注:若年は24歳以下、高齢は65歳以上をいう。夜間は日没から日の出までをいう。  
運転者事故は原付以上運転者が第1当事者(主たる原因)となった事故をいう。  
飲酒関係事故は原付以上の第1当事者が飲酒状態による事故で検知不能を含む。

## 3 「30日死者」(24時間を経過し30日以内に死亡した者)

30日死者は3人で、前年同期より3人減少している。 ※ 8月末で死亡を確認したもの。

【過去10年間の死者数推移】

年別	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
8月末	65	58	55	56	58	32	42	44	28	37	37
年間	106	90	75	91	84	43	61	75	50	70	...